

## 第 2 回岩手県公共交通活性化協議会地域別部会の協議結果（報告）

地域別部会で出された主な意見等は次のとおり。

### 1 盛岡地域部会

- (1) 利用者は、乗り換えなしで目的地に到着することを求めており、効率性と両方を考慮しながら策定作業を進めていただきたい。
- (2) 市町村単独で運転士不足に対応することは難しく、全県的な問題でもあるため、運転士確保について県の網形成計画に盛り込んでいただきたい。
- (3) バスロケーションシステムについて、盛岡市内に限定することなく、主要な接続拠点への設置も検討していただきたい。
- (4) 交通系 IC カードの導入について、利用者の利便性を考慮し共通の IC カードとすることを、10 カードとの連携を含めて検討していただきたい。

### 2 県南地域部会

- (1) 通勤・通学の流動データだけでなく、通院分もあれば参考になるのではないかと。
- (2) 合併前の旧市町村における公共交通形態がそのまま残っていることが課題である。
- (3) 鉄道と並走する幹線バス路線は、短距離の利用者が多いと思われることから、バス路線を鉄道に接続し、鉄道に任せる方法もあり得る。
- (4) 県には、計画策定の有無に関わらず市町村と協調して方向性を合わせ、市町村の地域内公共交通との連携をどうするのか、という視点で網形成計画を策定していただきたい。

### 3 沿岸地域部会

- (1) 現在の路線と異なる形で県の網形成計画が策定される場合は、市町村の議会にも説明できる機会を設けられるようなスケジュールで進めていただきたい。
- (2) 補助要件割れしている路線でも、通学に必要な不可欠な路線などは維持していかなければならないと考えている。
- (3) 現在は全部をバス交通で担うのではなく、実態に適した交通モード（手段）へ切り替え、接続しながら持続性を高めていかなければならない状況である。
- (4) 事業者だけではなく、皆がプレーヤーとなって、網形成計画に係る議論を深めて行ければと思う。

### 4 県北地域部会

- (1) 利用促進のためにはバスロケーションシステムや交通系 IC カードの整備等が必要となることから、可能であれば計画に盛り込んでいただきたい。
- (2) 「乗りたくなるサービスの提供」には、「速達性」が求められる場合もある。通院や通学だけでなく、観光の面でも速達性が確保されていれば利用しやすい。
- (3) 結節点について、一戸町・久慈市・普代村では道の駅の整備の話が進んでいる。網形成計画の策定期間にもよるが、「(予定)」といった表現で結節点としても記述してよいと思う。